

## ■ファシリテーター用資料

「エピソード」を考える際に、参加者の意見で注意が必要なものとそれへの対応をいくつか例示します。

- 例1 (意見) 「我慢すべき」「自己責任」など  
(対応) 他の参加者から意見を求める他、意見を表明する権利があることを紹介し、「そういった権利を我慢することについてはどう思いますか？」などと返す。
- 例2 (意見) 「前向きに考える」「明るく考える」「勇気を出す」など (本人のあり方や資質に片寄った意見)  
(対応) 「人の気持ちを考えすぎたり深く考える力があることで、かえって状況を変えることが難しくなることもあります。でも、相談できる人や信じてくれる人がいるとどうでしょう？」などと返す。
- 例3 (意見) 「幼稚園に子どもを送って、お茶を飲んでゆっくりできるのは結構なご身分だ」など  
(対応) 「結構なご身分と映るのは確かですが、どのような気持ちでお茶をしていると思いますか？単なるレジャーでしょうか？」などと問いかける。
- 例4 (意見) 「歳をとったら、新しく気の合う友だちを求めるより家族や昔からの知り合いと付き合うべき」など  
(対応) 「高齢化社会をどう生きるかは、これから大きな課題になってくると思います。発言者のような考え方の人もおられるでしょうし、Cさんのように考える方もおられると思います。」などと、それぞれが自分の生き方を選ぶこと、Cさんに楽しい場所・時間・人を求める権利があることに気付いてもらいます。
- 例5 (意見) 「女性はこうあるべき、男性は・・・」など (一つの価値観や自分の持っている規範意識が正しいとする意見)  
(対応) 「『女性はこうあるべき』と思う理由は何ですか？」などと問いかける。このように問いかけることで、対話を深めていくことができます。
- 例6 (意見) 「男は仕事が第一」「社会人としての責任感」など  
(対応) 「男はなぜ仕事が第一とされているのでしょうか？」などと問いかける。